

## 市長定例記者会見（H31．3．25）

お忙しい中、お集まりいただきまして、ありがとうございます。

本日は、第1回定例会が終了しましたので、議会を終えての所感、並びに今後予定する事業などについて発表させていただきます。

今議会におきましては、追加提案した議案1件を含む29件の議案について審議いただきました。

その主なものとして、「平成31年度一般会計及び各会計予算」や「恵庭市青少年宿泊研修施設条例の制定」などがありましたが、その全ての議案についてご承認いただきましたことに、まずもって感謝いたします。



また、一般質問や各常任委員会、さらには予算審査特別委員会の中で、市政の各般にわたる課題に関し、ご提言をいただきました。

これら議会からのご指摘を大切にしながら、さまざまな施策の推進を図ってまいります。

それでは、本日の発表内容を述べさせていただきます。

まず1点目は、「平成31年度の組織機構及び人事異動の概要」についてであります。

平成31年度は、一部組織体制を改編するなど増大する事務事業に対応しつつ、「第5期恵庭市総合計画」や「恵庭市総合戦略」を推進し、市の重点施策の実現を効率よく推進することのできる体制としました。

平成30年度に24名の退職がありましたが、平成31年度は第2次定員管理計画に基づいた職員採用を行い、定員管理上の職員数は534名となります。

組織改編の主な内容については、既にプレス発表時にお渡ししておりますが、組織全体では室の新設、課の統合や名称変更を行い、効率的・機能的な行政運営を図る体制としております。

次に人事異動であります。今回の異動者総数は267名となり、昇任者は部長級5名、次長級6名、課長級7名、主査級11名の合計29名となりました。

なお、「恵庭市特定事業主行動計画」の中で「女性職員の活躍の推進」を具体的な取

り組みとして挙げておりますが、平成31年度の組織においては女性管理職が9名であり、管理職に占める女性の割合は9.4%となる見込みであります。

新年度におきましても職員が一丸となり、市民の立場でよりよい行政サービスの提供に努めてまいります。

## 2点目は、「通院に係る子ども医療費助成の対象年齢拡大」であります。

12月の定例記者会見におきまして、通院に係る子ども医療費助成の対象年齢を、小学校3年生まで拡大しましたことをご説明申し上げましたが、対象年齢拡大に伴い、医療費助成の対象となる小学生の対応状況と申請状況につきまして、ご報告申し上げます。

現時点で受給者証をお持ちの新1年生や、入院に係る受給者証をお持ちの方は申請が不要となりますが、新2年生と新3年生で受給者証をお持ちでない方につきましては申請が必要となります。このことから申請が必要となる1,053名には、1月25日に案内文を発送し、3月18日現在で930名、88%の方が手続きを完了されているところであります。申請を完了された対象者の方には受給者証を3月15日に発送しており、4月1日よりお使いいただける状況となっているところであります。

また、対象年齢の拡大により、経済的負担の軽減と、疾病の早期治療を促進することで、次代を担う子どもたちの健やかな成長を見守って参りたいと考えますので、まだ申請がお済でない対象者におかれましては、市役所、支所・出張所にて、随時、申請を受付けておりますので、お早めにお済ませいただくようお願いするところであります。

## 3点目は、「地域密着型サービスの基盤整備」についてであります。

本年度より始まりました、第7期介護保険事業計画に基づき基盤整備を進めているところであり、「定期巡回・随時対応型訪問介護看護」を1事業者及び「認知症対応型共同生活介護」いわゆる「認知症グループホーム」を2事業者選定致しました。

サービス開始の予定時期と致しましては、「定期巡回・随時対応型訪問介護看護」は本年6月、「認知症グループホーム」の1つは本年6月、もう1つは平成32年度中のサービス開始を予定しております。

## 4点目は、「冬季スポーツ」についてであります。

市民スキー場のリニューアルオープンに際し、昨年12月25日のオープンセレモニーを始め、本年1月12日の「スキーの日」に合わせたオープンイベント、また、3月10日には例年実施しておりますスノーフェスタを開催したところであります。

今シーズンは雪不足によりコースのオープンが例年より遅れたものの一昨年とほぼ同様の16,530名の来場者があり、皆様にも喜びの声をいただいたところであり

ます。

また、本年2月17日には道央圏有数の冬季スポーツイベントであります「第31回恵庭クロスカントリー大会」が市と体育協会の共催により開催され、7歳から90歳まで1,006人の参加をいただきました。

大会当日は畜産共進会場を発着点に、5キロ、10キロ、15キロ、30キロ、リレーの距離競技や歩くスキーなどの6部門が行われ、参加者は冬の自然の中を爽快に疾走し、冬にしか味わうことのできないクロスカントリースキーの醍醐味を存分に楽しんでいただいたところであります。

**5点目は、「粗大ごみの出し方・ごみの分別変更説明会の実施結果」についてであります。**

粗大ごみについては、これまで月に一度の不燃ごみの日に排出していただいておりますが、この4月からは、粗大ごみコールセンターに電話申し込みをし、指定された日に排出していただく事前申込制に変更となります。

このため、市民周知を目的に、粗大ごみの出し方や料金に関する説明会を開催し、併せて4月からのごみの分別変更の内容についても改めて説明いたしました。

説明会は、2月26日からの3日間、市内3地区で計6回開催しましたが、市民の皆様の関心が非常に高く、当初想定していた参加人数を大きく超える1,000名近くの市民にご参加いただきました。

当日は、会場の収容能力を超えたため、急遽、別の会場に変更して開催するなど、ご不便をおかけしました。

参加された方からは、料金改定の経緯や事前申込の方法、具体の分別方法など多くの質問やご意見をいただきました。現在、ごみの出し方についての出前講座の申し込みも多く、明日からの3日間は市内3地区において、ごみ減量・リサイクルの推進に関する懇談会を開催致します。

今後ともこうした機会を捉えて市民の皆様のご意見を直接お聞きしながら適正なごみ処理を進めて参りますので、ご理解、ご協力の程、よろしくお願い致します。

**6点目は、「市ホームページリニューアル」についてであります。**

現在の恵庭市ホームページは、平成25年8月のリニューアルから5年が経過し、近年、高齢者や障がい者、海外の方への情報発信が求められることから、平成30年9月に公募型プロポーザル方式により業者を選定し、現在構築作業を進め、最終段階に入っているところであります。

新ホームページでは、「英語・韓国語・中国語」に加えて恵庭市で居住者の多いフィリピン

人やベトナム人へ向けた「タガログ語・ベトナム語」による音声読み上げ機能や、高齢者や障がい者を含めた誰もが支障なく利用でき、適切な対応を行えるホームページとなっております。

また、デザインとしてはホームページ入り口のゲートページにおいて、「読書のまち・花のまち・子育てのまち」をPRし、サイトの中には恵庭市の魅力を集めたシティプロモーションサイトも新設され、より多くの情報が発信される仕組みとなっており、運用は3月29日から開始予定であります。

#### 7点目は、「シティセールス事業」についてであります。

恵庭市のシティセールスでは、7月に検討委員会を発足し、都市的魅力的認識不足や、ふるさとの誇り、各種プロモーションの統一性がないことを解決するため、都市イメージ戦略を意識した「ブランド化」を展開する必要について協議してきたところであります。その中で、恵庭市においては、豊かな自然や田園、職・住・近接、地域コミュニティの成熟を目指して、「花・緑・田園都市」といった「ガーデンシティ」をコンセプトとしてブランディングし、これまでバラバラに発信している魅力情報を「ガーデンシティ」という入れ物を用いて束ねることで相乗効果を生み、大きな魅力作りを行うことで進めています。

これまでの協議を基に、今年度の短期的施策として、3月25日から31日までの7日間、札幌市営地下鉄にポスターの中吊り広告を行い、「ガーデンシティ恵庭」を可視化して、札幌市民はもとより道外から訪れた観光客にも恵庭市をPRしていく予定です。

#### 8点目は、「花の拠点総括管理運営会社に係る出資予定者代表者会議」についてであります。

花の拠点総括管理運営会社は、花の拠点のにぎわいづくりを目的とした、『オール恵庭』で取り組む組織として設立を予定しております。

このたび、3月12日火曜日に花の拠点総括管理運営会社に出資予定の団体の代表者が集まった会議が開催されましたので、ご報告いたします。

会議には、出資を予定している、市を含め6つの団体の代表者が集まり、お配りしている資料に基づき、花の拠点総括管理運営会社の概要や設立スケジュール等について確認され、これをもとに各団体の総会等において、出資についてご議論いただくこととなります。

また、花の拠点の完成予定図についてもお示しさせていただきました。完成後の花の拠点がよりよいものとなるため、市としては、総括管理運営会社が必要なものとして考えており、必要な設立に向けた手続き等の支援を実施してまいりたいと考えております。

以上で、私からの発表は終わらせていただきます。

引き続き、教育長からの発表があります。

#### **教育長から発表**

続いて、「恵庭市青少年研修センターの閉館」についてであります。

恵庭市青少年研修センターは、青少年の健全育成を目的として昭和43年8月に、当時の石狩管内7市町村による組合立の「恵庭青年の家」として開所いたしました。その後、組合の解散と共に本市に移管し、平成16年より現在の「恵庭市青少年研修センター」として運営して参りましたが、今年度で築50年を経過し、老朽化が著しく、本市が平成29年3月に策定した「恵庭市公共施設等総合管理計画実施計画」において青少年研修センターは、「施設のあり方や方向性を検討し、平成31年度から平成32年度に機能移転後、施設の用途を廃止する」との方針が示されておりました。

こうした経緯を踏まえた結果、青少年研修センターは3月末をもって閉館し、本年4月からは市内の民間施設に宿泊研修機能を移転することとなりました。

昭和から平成と、これまで半世紀にわたって多くの人に学びの場を提供してきた青少年研修センターですが、その役目は新たな施設に引き継がれることになりましたのでお知らせいたします。

(なお、4月からは市内の恵庭リサーチ・ビジネスパーク・センタービル内において新たに「恵庭市青少年宿泊研修施設」を開設する予定で準備を進めているところであります。)

#### ○恵庭市青少年宿泊研修施設

〈予定委託先〉 恵庭市恵み野北3丁目1番1 恵庭リサーチ・ビジネスパーク(株)

〈施設概要〉 宿泊室(就寝定員14名)×2室、シャワー室(4ユニット)×1室

#### ○恵庭市青少年研修センター・閉館セレモニー

平成31年3月27日(水)11時00分より青少年研修センターにて実施予定

#### ●質疑応答

##### 「花の拠点総括管理運営会社に係る出資予定者代表者会議」

記者) 花の拠点総括管理会社の件ですが、出資予定者は市が組まれているということで、現段階で市の出資額がどれくらいになるのか分かりますか。

市長) 全体で3千万くらいの出資金を募りたいと思っています。そのうち市は3%の

100万円くらいと考えています。各団体によって多い少ないはありますが、商工会議所、観光協会、まちづくり共同組合、恵庭リサーチ・ビジネスパーク、かのなさんに呼びかけを行っています。まだ、総会などそれぞれでやっていますので、明確なご返事はまだですが、出資の求めには応じていただけることになっており、総会后になると思います。

記者) 予算案には計上されていましてでしょうか。

市長) 当初予算に入れております。

記者) 花の拠点の完成予想図というのは、初めて表に出たものなのでしょうか。

市長) 常任委員会で出ています。

記者) 図面には予定されている施設は全部含まれているのでしょうか

市長) 施設は含まれてまして、かのな、既存の道と川の駅、これも改修します。旧保険センターのハウスも改修するということです。

記者) 宿泊施設は図面でいうどこになりますか

市長) 図面の右側の建物です。その公園の工事を始めることになります。

記者) 総括管理会社に関しまして、先ほど出資の話がありましてけれども比率は各団体ばらばらということで、大小あって何処かの団体が中心となって半分くらい持つのか、ある程度均衡させたような形で考えているのかなど、どの様なイメージなのでしょうか。

副市長) 恵庭リサーチ・ビジネスパークが中心になろうかと思います。あとは各団体で、12日の会議では目安のようなものをお話しましたが、市長から申しましたとおり、まだ総会にもかけておりませんので、金額は多少変更があっても全体として3千万で会社を設立したいと進めているところであります。

市長) 当初はこの会社でトイレや駐車場の管理、全体の管理になります。

記者) 出資はともかくとして、具体の管理業務は総括管理会社などに委託になるのかどのような形になるのでしょうか、まだその辺も検討段階なののでしょうか

市長) そうですね。設備関係や清掃業務などもあります。もう少し詰めていくと思います。

### 「冬季スポーツ」

記者) 冬季スポーツのスキー場なのですが、一昨年と同じくらいの開設日数ですが、利用者数が少し少ない気がします。

市長) 全体的に12月がほとんどダメな日が多く、3月も雪が少なくフェアのときもブッシュが出るくらい雪が少なかったことが原因なのかも知れません。

### 「恵庭市の人口」

記者) 人口 7 万人に近づいていますが、実際には何月頃になりそうですか。

市長) どうですかね。2 月は少し減っていますが、3 月もおそらく異動の時期で毎年減っている時期でありまして 4 月に盛り返してくると思われれます。

生活環境部長) 4 月で若干盛り返してきますが、例年のペースでいけば夏から秋にという感じですが、あとは市内で開発されている住宅団地がどのように影響していくかといったところです。

副市長) 花の拠点の隣接団地に 30 数区画ありますけれども、その建築が終わって住み始めればといったところもありますので、もう少し時間がかかるかもしれません。そこも期待の要素に入っています。

市長) 平成 28 年が 150 人くらい増え、平成 29 年が約 200 人、去年 30 年が 320 人位増えましたので、残り 200 人なかったのか、なんとかいけるかなと思いますが、なんともいえないところです。

### 「市ホームページリニューアル」

記者) ホームページの件でフィリピン語やタガログ語などの機能がありますが、フィリピン人やベトナム人の外国人労働者など恵庭は多いのですか。

企画振興部次長) 恵庭の企業で統計をとった段階でフィリピン人やベトナム人が多かったことから、今回はその言葉を対象とさせていただきました。

記者) 工場で働いている方、技能実習生が多いということですか

市長) 全部で 400 人くらいの外国人がいます。昨年 1 年間で 80 名程度増えました。

生活環境部長) 中国人 110 人 フィリピン 87 人 ベトナム 70 人 その他 143 人となっています。(10 月末で 410 人でした)

### 「平成 31 年度の組織機構及び人事異動の概要」

記者) 人事の話ですが、新年度から教育部に施設整備室を新設して教育施設課が配置されるのですが、資料を見ると教育施設の建替えなどに対応すると書いているのですけれども、新年度では建替えだけでなく、大規模改修とかの工事関係に対応する施設課なのかなと思うのですが、具体的に現時点で教育施設の建替えなどどういように見込んでいるのか。例えば対象となる施設とか、危険な建物とかあれば教えていただきたいのですが。

教育長) 教育施設、学校関係の耐震化そういうものは終わっていますが、市民会館だとかがまだ耐震化が終わっていませんし、今、お話のありました小学校の長寿命化などはすでに着手されています。その他に給食センターの老朽化が進んでいますし、

小中学校 13 校は一つ行えば、次の学校の改修時期がきますので、いろいろな設備関係も含めまして総合的に対応していくために、給食センターなどの事業所なども含めて、単に更新するだけではなくて今後の更新計画をどうするか、そういったことも含めて具体的な検討も含めるという判断から教育関連施設を一括してそこで行うことで組織を新設しました。

市長) 地区会館なども教育施設にあるものですから、そういうものも古くなってきていますので一括して行うといったところです。

記者) ありがとうございます

市長) よろしいですか。また引き続き新年度もよろしくお願い致します。

以上を持ちまして、定例記者会見を終了させていただきます。ありがとうございました。